



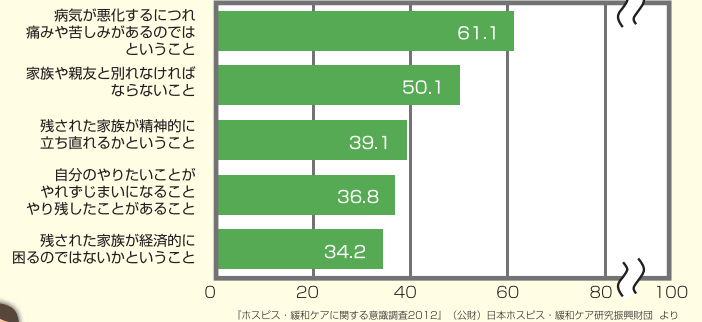
# ホスピス・緩和ケアの原点は その人らしい生を支えることです。 そして、さまざまな苦痛の緩和です。

日本人の2人に1人が、がんにかかり、3人に1人が、がんで亡くなっています。

## ホスピス・緩和ケアの理念

- からだの痛みをやわらげます
- 心の不安をやわらげます
- 日常生活を少しでも快適に…ボランティアもお手伝いします
- 家族の不安にも耳を傾けます
- あなたらしさをチーム一丸となって支援いたします

## 死期が近い場合の不安や心配事



NHK厚生文化事業団発行「ホスピスってなあに？」より引用

「ホスピス・緩和ケアに関する意識調査2012」（公財）日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 より

## 緩和ケアチーム



ホスピス財団は  
皆様のご寄付で  
支えられています

JHPF

# ホスピス財団は4つの柱で ホスピス・緩和ケアの向上に貢献します。

ホスピス・緩和ケアに携わる  
人材を育成します。

1. 職種を超えた教育プログラム  
・ Whole Person Careワークショップ  
・ グリーフケア研修
2. 職種別の教育プログラム  
・ ソーシャルワーカー研修  
・ ボランティア研修 など

質の高いホスピス・緩和ケアの提供を  
目指して様々な調査・研究を行います。

「遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する研究」は2007年以來、2回実施され、いずれも1万人規模で行われ、世界的にも高く評価されている調査です。

オリジナリティのある調査・  
研究や非がん患者の実態  
調査にも、より一層  
の力を注ぎます。



人材育成

調査・研究

国際交流

普及・広報



ホスピス・緩和ケアを  
正しく知っていただくため  
の普及・広報活動を行います。

- ・ ホスピス・緩和ケアフォーラム
- ・ ホスピス・緩和ケア白書など



アジア太平洋諸国  
との交流を深め、地域  
のホスピス・緩和ケアの  
向上に努めます。

APHN (Asia Pacific Hospice Palliative Care Network) の会員として、国際交流に貢献します。

アジア太平洋諸国とホスピス・緩和ケアに関する  
共同研究を行います。



ホスピス財団

(公財) 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30  
TEL: 06(6375)7255 FAX: 06(6375)7245  
E-mail: hospat@gol.com  
URL: <http://www.hospat.org/>

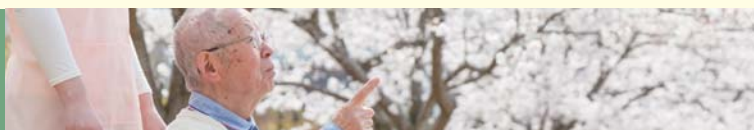
ホスピス財団は  
皆様のご寄付で  
支えられています



# ホスピス財団の活動は みなさまのご寄付で支えられています。

昨今の経済情勢や社会情勢の影響を受け厳しい財政状況に置かれています。  
ホスピス財団の活動をご理解いただき、賛助会員として、またご寄付を通して  
私たちの活動を支えてください。また、ご遺贈のご相談も承っております。

## 賛助会員



- 賛助会員とは 財団の活動に賛同し、財団の事業をご支援下さる個人および団体をいいます。
- 賛助会費（年会費として毎年納入）  
団体賛助会員：一口 10万円（一口以上）  
個人賛助会員：一口 5千円（一口以上）
- 会員の特典
  1. 財団が発行する機関誌（会報）等の入手
  2. 財団主催の集会への優先的参加（有料の場合はその割引）
  3. その他、財団が行う諸事業の情報の入手

 1ヶ月に417円、コーヒー1杯分です

## 一般寄付



- 一般寄付 賛助会員とは別に、随時寄付を受け付けております。

## 遺贈による寄付制度



遺言書によって遺産の受け取り人やその内容を指定することを一般に遺贈と呼んでいます。この「遺贈による寄付制度」により、当財団を財産の受取人に指定し、寄付することが可能となります。そして、公益法人への遺贈による寄付財産は、原則として相続税の非課税財産となります。



**ホスピス財団**  
(公財) 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30  
TEL: 06(6375)7255 FAX: 06(6375)7245  
E-mail: hospat@gol.com  
URL: <http://www.hospat.org/>